

キャラクター名	プレイヤー名
藤科 羽(ふじしな はね)/NPC	

シンドローム	モルフェウス	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	
	エンジェルハイドウ				
オプション	ハヌマーン	年齢	21	性別	男
覚醒	生誕	衝動	妄想	初期侵食率	31 %
出自	姉妹	経験	仲間の喪失	邂逅	同士

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	23
肉体	1	0	0			1	行動値	31
感覚	5	1	3			9	(非装備時)	31
精神	1	0	0			1	戦闘移動	36
社会	1	0	0			1	全力移動	72

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	8		射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識: 遺産	6		情報: UGN	4	
運転:			芸術:			知識:			情報: 裏社会	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
コバ: 閃空剣(せんくうけん)	白兵	12r+8		36		シオン攻撃/装甲値無視・ガード不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	タス	消費
Dロイス [遺産継承者: 祈りの造花]	P	N			
Sロイス [亡き姉: 藤科 雨]	P	遺志	N	悔悟	
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト: モルフェウス	3	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: クリティカル値-LV(下限値7)								
リフレックス: ハヌマーン	3	2	リアクション	-	-	-	-	
効果: クリティカル値-LV(下限値7)								
シャインブレード	9	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: シーン間選択した武器の攻撃力に+[LV*2]								
一閃	1	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果: 全力移動を行う								
切り払い	1	1	リアクション	至近	自身	対決	-	
効果: <白兵>でドッジを行う								
浸透撃	4	2	Xジャー	武器	単体	対決	-	
効果: ガード値無視/ナガリLV回								
電光石火	2	3	Xジャー/リアクション	-	-	-	-	
効果: ダイス+[LV+1]個/HP1D失う								
先手必勝	4	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 【行動値】+[LV*3]/基本侵蝕値+4								
光の舞踏	1	2	Xジャー/リアクション	武器	-	-	-	
効果: 【感覚】で<白兵>判定								
吠えたける爪	4	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果: 装甲値無視/攻撃力-[5-LV]								
神速の鼓動	1	20	Xジャー	視界	シーン: 選	対決	120%	
効果: 射程・対象変更								
インフィニティエポソ	5	3	マイナー	至近	自身	自動	Dロイス	
効果: 白兵武器を作成								
咎人の剣	2	4	Xジャー	-	-	対決	リミット	
効果: 攻撃力+[LV*5]								

「「連携」と「馴れ合い」は違う。戦場で情に流され判断を誤るな。切り捨てるべきものは切り捨てる……死んだら、元も子もないのだからな」  
 厳しい口調と冷徹な物言いでチルドレンから恐れられているエージェント。その影にはチルドレンを気遣う優しさがあるのだが理解されにくい。  
 双子の姉がいたが任務中に自身の失態にて危機を招いた結果、姉が底い死亡する。その際に姉が持っていた遺産《祈りの造花》が彼に継承される。彼にとっては文字通り「遺産」である。  
 それ以来は仲間を失うことを恐れ単独で任務に当たることが多い。その傍ら高い戦闘能力を評価されチルドレンの養成も受け持っている。  
 また彼が当たる任務の多くは日本における遺産絡みの案件が多い。彼自身も【遺産継承者】であることから遺産に対して知識を多く所有している。  
 姉に顔がよく似ており女性のような顔立ちをしている。また髪が鎖骨あたりまで伸びており、長髪も相まって女性に見られることも多い。これは生前の姉が「羽」の髪の毛は綺麗ね。名前も文字通り「羽毛」って言えばいいかな。ふわふわっ」などと髪を褒めていたことに起因する。割と女々しい性格。

===== 《Episode.0: 椿鬼侑朔との出会い》 =====  
 「——ジャムかと思ったが、まだ衝動に飲み込まれてはいないようだな」  
 目の前の少年二人に視線を向ける。たまたま任務でこの市の支部に滞在していたついでに、突然のレネゲイド反応を伺いに来てみたが……なるほど。覚醒はつい最近というわけではなさそうだ。レネゲイドが体に馴染んでいる。だが、制御ができてないか。例えるのならバンプがたついでにきている水道といったところか。  
 片方は……レネゲイドの反応を感じない。未覚醒か。なら今対処すべきはこちらか。結晶——モルフェウスかと思ったがよく見れば血液が変質しているようだ。本質はプラム=ストーカーか。それに合わせて特異な血液のタンクとして対応するように肉体も変化しているな。エグザイルでもあるか？  
 まあいい。暴走状態にあるようだしな……多少手荒にはなるが仕方がない。抑えつけるか。

暴走を取めるのに大した手間はかからなかった。こちらは任務をいくつも経験しているエージェントで、こちらは力の制御も、力についての知識もない子供だ。

「よく聞け、少年。お前の体は既に人と違う。今後こういう事態を招く恐れがある。……そう、俺もそうだがお前も「化け物」となった。今ならばまだ“人”として処理してやる。だがお前がまだ生を望むのならば力の使い方を教えてやろう」

